

アートをこどもたちへ

びじゅつか えが ～美術家の描いた絵本～

き かん れいわ
期間: 令和4年4月12日(火)～5月29日(日)

ば しょ かがわけんりつとしょかん かいえつらんしつ てんじ
場所: 香川県立図書館 1階閲覧室 展示コーナー

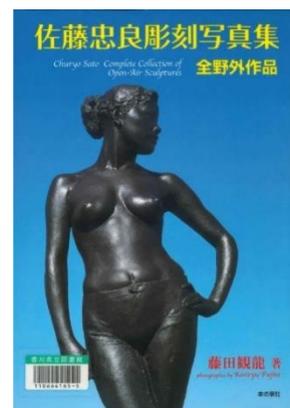
みなさんは、絵や彫刻などの美術(アート)を見たり、自分で描いたりするのは好きですか？
アートは人の心を動かし、豊かにしてくれるものですね。そして、私たちに一番身近なアートの一つが、絵と文章が一体となって表された、絵本です。

よく知られた絵本の中には、美術の世界で活躍した人が手がけたものがあります。
例えば、『おおきなかぶ』(福音館書店)の絵を描いた佐藤忠良は、日本を代表する彫刻家です。人間を描く優れたデッサンを見込んで頼まれた仕事が『おおきなかぶ』でした。彫刻家としての作品をあわせて見ることで、絵本もより深く見ることはできないのでしょうか。

今回の展示では、絵画、彫刻など美術の分野で活躍した日本人が描いた絵本と、その人の作品集等をあわせて紹介します。美術家がそれぞれの持てる力を込めて、こどもたちのために描いた絵本を、どうぞご覧ください。



『おおきなかぶ ロシアの昔話』
A. トルストイ/再話, 内田莉沙子/訳, 佐藤忠良/画
福音館書店



『佐藤忠良彫刻写真集 全野外作品』
佐藤忠良/[作], 藤田観龍/著 本の泉社

びじゅつか えが じどうしりょう かした
* 美術家の描いた絵本を、児童資料コーナーで貸出ししています。

てんじ かんれん む びじゅつ てんじ お かした
* 展示に関連した、大人向けの美術の本を、展示コーナーに置いています。貸出しもできます。